

「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」
(うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)
「南西諸島地域でのきく等花き生産における新たな光源利用技術の実証研究」シンポジウム

南西諸島のキク電照栽培における新たな光源利用技術の開発にむけて

日 時：10月7日(水) 14:00～ (受付 13:30～)

場 所：読谷村文化センター 中ホール(読谷村座喜味 2901)

主 催：攻めの農林水産業(花き・南西諸島)コンソーシアム

共 催：沖縄県農業研究センター

(事務局:農業・食品産業技術総合研究機構 花き研究所)

【趣 旨】：我が国における冬季の花き供給基地である沖縄県のキク生産の安定効率化に向け、近年進展が著しいキク生産における光を利用した生育開花調節技術について、基礎となるキクの光応答反応の最新知見から新光源の活用事例までを紹介し、論議する。

【プログラム】(タイトルは仮)

14:00-14:05 あいさつ(沖縄県農業研究センター所長 松田 昇)

14:05-14:15 趣旨説明

14:15-14:45 キクの光周性花成メカニズム

(農研機構花き研究所 久松 完)

14:45-15:15 沖縄県における電照光源の現状と課題(沖縄振興特別推進交付金対象事業 キク日本一の沖縄ブランド維持のための生産基盤強化技術開発事業)

(沖縄県農業研究センター 渡邊武志)

15:15-15:30 休憩

15:30-16:00 キク電照の効率化 ―新たな光源選定・導入に向けて―

(鹿児島県農業開発総合センター 白山竜次)

16:00-16:30 鹿児島県沖永良部島におけるLED電照栽培の取り組み事例

(農研機構花き研究所 住友克彦)

16:30-16:45 総合討議

16:45-16:50 閉会挨拶

【参集範囲】花き生産・流通関係者、専門技術員・普及指導員等、試験研究機関担当者、大学・民間団体・企業等の花き産業関係者対象

- 1) 参加費無料
- 2) 定員 240名

【事前申込】定員に達した時点で締切となります。

参加希望者は10月2日(金)までに「参加申込書」にご記入のうえ、E-mailの添付ファイルまたはFaxでお送り下さい。

【申込先】

沖縄県農業研究センター 野菜花き班 渡邊 宛

E-mail: watanatk@pref.okinawa.lg.jp

Fax: 098-840-8510

【問い合わせ先】

「攻めの農林水産業(花き・南西諸島)コンソーシアム」事務局

国立研究開発法人農研機構花き研究所 担当:住友克彦(ksumi87@affrc.go.jp)

〒305-8519 茨城県つくば市藤本 2-1

Tel:029-838-6819 Fax:029-838-6841